

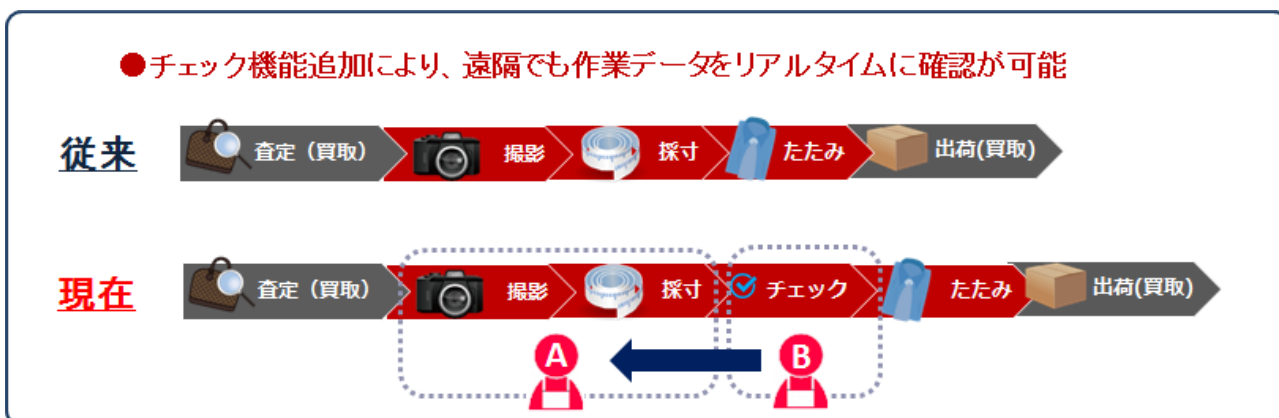
NEWSRELEASE

自社クラウドワーカー月間アクティブユーザー 400人超順調に規模拡大 遠隔確認機能リリースで出品精度向上

株式会社デファクトスタンダード（本社：東京都大田区、代表取締役社長：尾嶋崇遠、東証マザーズ上場：証券コード3545、以下「デファクトスタンダード」）は、戦略的に推進している同社の商品撮影等の出品業務を外部リソースへと切り出すクラウドソース化の実働人数が400人を超え、順調に拡大していることをお知らせいたします。

◆クラウドワーカー拡大の背景

デファクトスタンダードでは、宅配買取サービス「ブランディア」を通して、査定や真贋判定など、これまで専門性が高いと考えられてきた業務を自社でデータベース化することにより、未経験でも一から査定が行える仕組みを作っていました。また、コスト削減や買取繁忙期にも売上生産活動が滞ることなく対応を可能にすることを目的として、同社の商品撮影・採寸・データ入力といった出品業務を切り出し、クラウドワーカーの活用を進めております。現在述べ700人以上が登録、実働としては400人を超える規模に拡大してまいりました。これにより、雑給からより安価な業務委託費へシフトしていくことで、より高い収益構造の基盤を築くことができました。今後もクラウドワーカーの活用を拡大していくことで収益の向上を図ってまいります。



また、クラウドワーカー規模拡大に伴い、同社の独自基幹システム（DeCo システム）にクラウドワーカーの作業品質を確認できる機能をリリースし、作業不備の早期発見、出品精度の向上を図ってまいります。

◆株式会社デファクトスタンダードについて

中核事業であるブランド品宅配買取サービス「Brandear（ブランディア）」は、「インターネット」「一拠点集中型」「組織仕組み化」といった強みを活かし、リユースEコマースにおける「中・低単価アパレル市場」マーケットを拡大して

まいりました。取り扱いは、洋服、バッグ、アクセサリなど、ハイブランドから身近な百貨店ブランドまで約7,000種類と幅広く、延べ利用者数200万人を突破（2017年5月15日時点）いたしました。2016年8月31日（水）に東証マザーズへ上場、今後も本サービスを中核としながら、世の既成概念にとらわれず、新しい価値を見出し、デファクトスタンダードとなるサービスを作り出してまいります。

【会社概要】

【ブランディア】 <http://brandear.jp/>

【ブランディアオークション！】 <http://auction.brandear.jp/>

会 社 名 : 株式会社デファクトスタンダード

代 表 者 : 代表取締役社長 尾嶋 崇遠

本社所在地 : 東京都大田区平和島 3-3-8 山九平和島ロジスティクスセンター5F

設 立 日 : 2004年4月、 資 本 金 : 1,209百万円